

市長と語ろう!

平成27年度

笠間タウントーキング 開催報告

市民の皆さんと行政がお互いに情報を交換し合い、交流を図る場として地方創生をテーマに「市長と語ろう！笠間タウントーキング」を5月から11月にかけて実施しました。各地区のほか、20歳代の意見を求めるため、大学生などを対象にした「U活プロジェクト」や、市内企業等を市長と見学しながら、笠間の良さや地域資源を再発見する懇談会を開催しました。

懇談内容の詳細については、ホームページ「市政懇談会（平成27年度）」をご覧ください。

テーマ	サブタイトル	開催日	場所	参加者数
地方創生	地方創生懇談会	5月30日	笠間市役所 本所	18人
		5月31日	笠間市役所 笠間支所	22人
		6月19日	市民センターいわま	22人
		6月24日	笠間市役所 本所	36人
		6月29日	笠間市役所 本所（女性対象）	34人
U活 プロジェクト	U活 プロジェクト	8月 6日	茨城マルシェ（銀座）（首都圏学生）	29人
		10月12日	あたご天狗の森スカイロッジ（県内学生）	12人
地域資源 再発見	地域資源 再発見	11月 7日	笠間クライインガルテン	9人
		11月21日	株式会社イチカワ岩間工場	25人
		11月29日	須藤本家株式会社	30人

郷土愛の醸成について

Q 高校を卒業しても市内に住み続ける意識を持たせるには、中学生の時に人口減少の現状を知らせる必要があり、「笠間」を考えさせるような教育をしていくべきだと思う。

A 子どもの頃から郷土愛を育てるべきという意見は多いです。郷土愛の教育は行っていますが、県外の大学に進学しても、Uターン就職ができるよう雇用の場の確保とあわせて行なっていきたいと思っています。

農業の強化について

Q 農業は、若い人が参入しなければ先はないように感じる。農業を強化しなければ人口も減ってしまうのではないか。

A 市では、ここ5年間で50人から60人程度の新規就農者がいます。これから農業は、農地集積など各農家の規模拡大を図って、専業農家や新規就農者をしっかり支援して農業を強化していくことが大切だと思います。

子育て環境について

Q 子育て環境の整備により女性が働きやすくなるので、保育所等の整備が必要ではないか。

A 市の待機児童は最大で約30名です。これを解消するために、笠間地区に認定子ども園を整備するとともに、各保育所等の定員拡大を図っていきます。さらに県内で初めてとなる、子育て世代包括支援センター「みらい」を設置し、妊娠、出産、子育ての相談を包括的に実施し、子育て世代を応援しています。

雇用（転職支援）について

Q 就職や転職を希望する人などに対し、求人情報などを発信することはできないか。

A 雇用の場を確保するため企業誘致にも取り組んでいますが、市内には、高い技術力や特殊な専門性を持った、賃金も高水準の企業があるので、求人情報を発信できるよう事業者の理解を得ながら、進めていきたいと思います。

友部駅前の活性化について

Q 友部駅の付近には、お茶や食事など時間をつぶせる場所がない。また、友部駅の通路を使って市の魅力をPRできないか。

A 友部駅南口に建設を進めている友部地区的地域交流センターには、カフェを入れる予定です。また、駅の自由通路は市が管理しているので、ガラス壁を活かして、笠間の名所をPRできるか考えてみます。



女性対象懇談会



若者の学ぶ場所、戻る場所について

Q 陶芸のまち、芸術のまちであるにもかかわらず、養成機関が充実していないと感じる。陶芸家や芸術家を目指す若い人たちの未来を考え、学ぶ場所、戻る場所をぜひ考えてほしい。

A 笠間の特色としては、芸術、文化というものがたり、他市町村と比べると優位性があります。ここに力を入れていくのは、市としても大切なことだと思っています。

来年度から、県の窯業指導所が陶芸大学校になります。学校を卒業した後は、笠間に定住し焼き物の活動をしていただく取組みを、県と一緒に進めています。



◀地域資源めぐり
(イチカワ岩間工場)



懇談会の様子▶
(イチカワ岩間工場)

景観(空き家・耕作放棄地)について

Q 市内を歩いていると、空き家や雑草が生い茂っている田畠が目につき、笠間を訪れる観光客ががっかりしてしまうのではないかと思う。もう少し景観を良くできたらいいのではないか。

A 空き家にも住めるものと住めなくなっているものがあり、市としては、空き家バンク制度により住める空き家を持っている方と笠間に住みたい方にそれぞれ登録をしていただき、空き家の利活用を支援しています。この制度では、19件が成立していますが、それ以上に空き家が増えているのが現状です。

住めなくなっているものは、取り壊していくのが一番ですが、経費がかかるということで、持ち主に了解していただけない場合もあります。

また、田畠に雑草が生え、景観上良くない場所は確かにあります。田畠の集約化をし、耕作をしてくれる担い手を確保することで、これ以上荒れ地を増やさないように取り組んでいます。



◀地域資源めぐり
(須藤本家)



懇談会の様子▶
(須藤本家)

高齢者の移動手段について

Q 年をとり、いつまで車を運転できるか不安に思っている。家に引きこもらないようにするには、移動手段の確保が大切ではないか。

A 現在、市内の交通手段としては、かさま観光周遊バス、デマンドタクシー、路線バスなどがあります。デマンドタクシーに関しては、待ち時間が長いという意見がありますが、台数を増やすにはそれなりの費用も必要となります。なお、免許返納者にデマンドタクシーのチケットを補助するといった取組みも行っています。

▼U活プロジェクトin銀座（首都圏学生対象）



U活プロジェクト▶
(県内学生対象)



笠間タウントーキングを開催するため、普段は市民の皆さんができる施設などを探しています。30人程度の懇談会ができる会場を提供していただける場合はご連絡ください。

【問合せ】秘書課（内線224）